

さくら市 議会だより



令和4年2月1日

No. **68**

2022年

ちよど
いい!
さくら市



SAKURA
CITY

《市民すべてが暮らしやすいと実感できる、魅力あふれる「さくら市」を目指して》



目次



- ◆ 第5回臨時会のあらまし…………… 2
- ◆ 第4回定例会のあらまし……………2～3
- ◆ 各常任委員会(総務・文教厚生・建設経済) 4～6
- ◆ 議会のいろは…………… 7
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 8～9
- ◆ 一般質問 ……………10～17
- ◆ 議会レポート・議会の動き ……………18
- ◆ どうなったんべ あの質問は ……………19
- ◆ 市民の声・次回の定例会の予定……………20



喜連川温泉活性化に向けて

「第5回 臨時会のあらまし」

令和3年第5回臨時会が10月15日に開催され、令和3年度一般会計補正予算議案を原案通り可決しました。

上程された主な議案

令和3年度一般会計補正予算（第6号）

○橋梁維持事業

令和2年度より3か年計画で事業実施を予定していた氏家駅東西線修繕工事（JR委託分）の事業期間が、2か年に変更されたことにより令和4年度分の事業を前倒して実施するもの。



4,250万円

○喜連川温泉利用促進事業

温泉施設の集客増加を図るための「美肌の湯と美活、美食で別嬪に！喜連川温泉湯めぐりプロジェクト」を実施するもの。



1,000万円

ワクチン接種3回目へ

「第4回 定例会のあらまし」

令和3年第4回定例会が11月30日から12月15日まで開催され、令和3年度一般会計補正予算等の議案16件、諮問1件、追加議案4件、追加議員案1件を原案通り可決、同意し、1件の報告を受けました。一般質問では8名が市政について問いました。

上程された主な議案

令和3年度一般会計補正予算（第7号）

○新型コロナウイルスワクチン接種事業

ワクチンの3回目接種のための事業費。



1億743万7千円

○氏家公民館運営事業

空調設備改修工事費用。



6,200万円

令和3年度一般会計補正予算（第8号・9号）

○子育て世帯への臨時特別給付金事業費

平成15年4月2日から令和4年3月31日までに出生した児童1人当たり10万円の現金給付を行う事業。



3億7,577万6千円（第8号）

3億7,553万6千円（第9号）

人権擁護委員候補者の推薦

○小堀 俊子 氏（馬場）

追加議員案第1号

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書

核兵器禁止条約は、2017年7月7日、国連加盟国の3分の2にあたる122カ国の賛成で採択され、国連創設デーの2020年10月24日、発効に必要な50カ国の批准を達成し、2021年1月22日に効力を発することとなりました。

2017年にこの条約への調印・批准が開始されて以降、国際社会において前向きな変化が生まれたことによるものであり、核兵器の禁止・廃絶につながるものです。

一方で、条約には世界の核兵器の9割を保有するアメリカとロシア、さらに中国などの核保有国等が参加していないことから、その実効性が疑問視されています。また、北朝鮮が我が国を核ミサイルで攻撃する能力を有するようになるなど、核軍縮に逆行する国際情勢の流れもあります。

こうした中、1945年に広島、長崎に原爆の投下を受け、21万人以上の方が犠牲となった、唯一の戦争被爆国である日本が核兵器禁止条約への参加を検討する意思を表明し、核兵器のない平和な世界の実現に向け、リーダーシップを発揮することが強く求められているところであります。

よって、本市議会は、国に対し、核兵器禁止条約への署名と批准に向けた建設的な議論を進めることを要望します。

令和3年12月15日

内閣総理大臣 岸田文雄 様

外務大臣 林 芳正 様

提出者 さくら市議会総務常任委員会 委員長 小堀勇人

賛成者 さくら市議会総務常任委員会 高瀬一徳 櫻井秀美 福田克之 鈴木恒充 矢澤 功

●会議結果・賛否の公表については市ホームページをご覧ください。

「さくら市ホームページ ▶ さくら市議会 ▶ 定例会」



定例会QRコード

「さくら市ホームページ ▶ さくら市議会 ▶ 臨時会」



臨時会QRコード

総務常任委員会

◎小堀 勇人 ○高瀬 一徳
櫻井 秀美・福田 克之・鈴木 恒充・矢澤 功

議案第1号 さくら市個人情報保護条例の一部改正について

- Q 条例に追加された、「緊急かつやむを得ないと認められるとき」とは具体的にどのような場合を想定しているのか。
- A 市民が新型コロナウイルスに罹患し、自宅療養となっている間に災害が発生した場合、本来なら県の療養施設に行くことになっているが、その前に市の避難所に来た時に、ほかの避難者とは別の部屋に案内できるように、事前に県に連絡して県が把握している市の感染者の情報をもらうというような状況を想定している。また新型コロナウイルスに限らず、ほかのウイルスにも対応できるようにした。

議案第3号 令和3年度さくら市一般会計補正予算（第7号）所管分について

- Q ふるさとづくり寄附事業に関して、ふるさと納税の歳入と歳出のバランスは。
- A 歳入のふるさとづくり寄附金が8千万円。歳出のふるさとづくり寄附事業は、寄附額の3割の返礼品とポータルサイトの委託料等で、4,670万4千円となっており50%を超えている。予算を計上する上で他市町村の平均よりは抑えた経費となっており、今後も調査研究していきたい。

議案第16号 南和田辺地に係る総合整備計画の変更について

- Q 喜連川地区の農道については、まだ砂利道も多く整備が必要な箇所が多いと聞かすが、辺地債を使った事業として想定されるものはあるのか。
- A 今回の路線は、早急に舗装工事をやりたいという地元の要望があつて辺地債を使った事業として計上したが、舗装を必要とする路線は、まだ存在していると認識している。

追加議案第1号 さくら市桜が咲き誇る小都市づくり基金条例の一部改正について

- Q 基金を使用できるのが桜のみだと、将来的な管理・運営に問題が出てくるとの想定での改正か。
- A 桜植栽に付随して花や緑を配置した時にも基金を財源として使用し、一括した管理ができるよう改正を行うものである。

陳情第6号 「日本政府に核兵器禁止条約への参加・調印・批准を求める意見書」の提出を求める陳情書について

結果：採択
理由：核廃絶については全国民の願いであり、地方議会からも国に対して要望していくことが必要であると思うので採択とした。

《現地調査》

●南和田辺地 ●お丸山公園 ●勝山公園



文教厚生常任委員会

◎岡村 浩雅 ○吉田 雄次
加藤 朋子・若見 孝信・洗井 康男・手塚 定

議案第3号 令和3年度さくら市一般会計補正予算（第7号）所管分について

- Q 新型コロナ対策に国の負担金と補助金があるが、掛かった経費が全部対象となるのか。
- A 基本的に掛かった経費は全部対象になる。
- Q 新型コロナワクチンの3回目の接種はどのように実施されるのか。
- A 医療従事者への接種は12月3日から黒須病院で開始されている。一般の方への接種は8カ月経過後と説明していたが、国で前倒しの話が出てきている。ワクチンは、ファイザーとモデルナが1：1の割合で来るので選択で交交互種も可能となる。
- Q 子ども医療費の増額は保育園等でのノロウイルスとRSウイルスへの感染によるとの説明だが、保育園等での対応は。
- A 保健所の指導により、保育室の床の消毒を徹底して行った。

議案第5号 令和3年度さくら市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

議案第6号 令和3年度さくら市介護保険特別会計補正予算（第2号）について

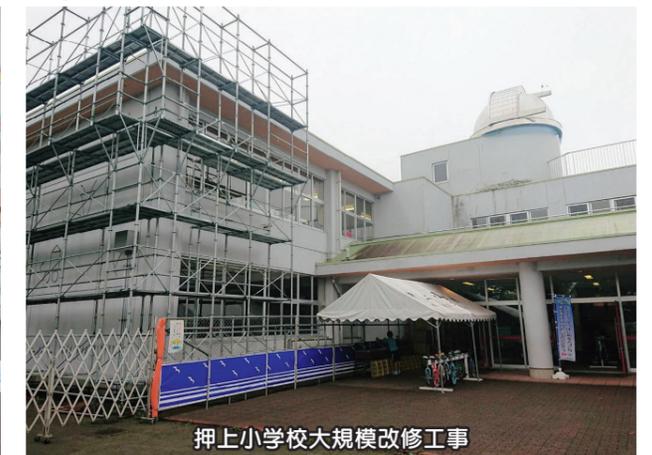
原案通り可決

陳情第7号 新型コロナウイルス対策に関する見直しを求める陳情書について

結果：継続審査
理由：内容について一部理解できるところもあるが、今後の状況が見えない中なので、さらに慎重に審議する必要がある。

《現地調査》

●社会福祉法人恵友会 桜花 ●あおぞら保育園 ●押上小学校大規模改修工事



各議案の内容については、「市ホームページ」をご覧ください。



建設経済常任委員会

◎石原 孝明 ○笹沼 昭司
大河原 千晶・永井 孝叔・石岡 祐二・角田 憲治

議案第3号 令和3年度さくら市一般会計補正予算（第7号）所管分について

- Q 商工観光課所管分の委託料の指定管理料のうち変更について、コロナにおける減収のための増額だと思うが、その積算の根拠は。
- A 道の駅きつれがわの温泉施設及びもとゆ温泉・露天風呂の上半期実績で、不足した額を指定管理料として増額した。下半期については令和2年度の下半期の数字を参考にして算出している。
- Q 農業用機械等導入支援事業補助金について、新たな申請は具体的にはどのようなものか。
- A いちご作付けのトラクターを購入したい新規の就農者が申請している。新規の人だけでなく、拡大したい人も対象となっているので、制度について周知等していきたい。

議案第4号 令和3年度氏家都市計画事業上阿久津台地土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）について

- Q 事業終了はいつか。
- A 地区内で残工事となっている道路築造・整地造成工事については、令和3年度中に全て竣工する。令和4年度については一部の道路の舗装工事を残すのみである。全体事業としては、令和5年度に換地処分を行うことで区画事業が終了する予定である。

議案第7号 令和3年度さくら市水道事業会計補正予算（第1号）について

議案第8号 令和3年度さくら市下水道事業会計補正予算（第1号）について

原案通り可決

陳情第5号 さくら市蒲須坂「荒川南岸急傾斜地」の崖崩れ災害防止対策に関する陳情書について

結果：採択
理由：過去に採択されており、地元では危険だという認識が強いこと。また、2回ほど工事が行われているが、今回の場所は手がつけられていないため、地元の気持ちを考え採択した。

《現地調査》

- 大中地区（計画道路周辺） ●勝山公園 ●氏家地区農産物直売所 ●市道K3307号
- 道の駅きつれがわ



勝山公園



氏家地区農産物直売所(菜っ葉館)



「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」について

「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」って？

委員会とは、議案審議のために審査・調査を行うために設置される組織です。委員会には、常設されている常任委員会、議会運営委員会や、必要に応じてその都度設置される特別委員会等があります。「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」はコロナ禍における様々な行政課題を集中的に審査、調査するために令和2年5月21日に設置されました。小堀勇人委員長、高瀬一徳副委員長のもと、全議員がメンバーとなってこれまで4回開催されてきました。

これまでの開催実績は？

- 第1回 令和2年6月1日
- 第2回 令和3年6月9日
- 第3回 令和3年8月24日
- 第4回 令和3年11月30日

市民の関心が高いワクチン接種について、感染症対策について、コロナ禍における困窮者救済策について等、様々な事項について、市の考えや方針を踏まえて質疑や闊達な意見交換がなされてきました。まだまだ出口の見えないコロナ禍において、重要性が増す委員会だと感じています。



- さくら市役所本庁舎
- 喜連川庁舎
- 卯の里庁舎
- 氏家・喜連川公民館
- 氏家・喜連川体育館
- 氏家・喜連川図書館
- 氏家・喜連川保健センター
- さくら市ミュージアム 荒井寛方記念館
- 市民活動支援センター
- 道の駅きつれがわ
- 市営もとゆ温泉
- 市営露天風呂
- 和い話し広場
- 氏家福祉センター
- 喜連川社会福祉センター
- 氏家・上松山・喜連川児童センター
- 南小学童保育センター
- さくらテラス

議会だよりは、上記の場所で入手できます。
また、おいてくださるところを募集しています。

委員からの主な質疑内容

Q コロナ禍によって米価が3～4割下がり、農家の打撃は大きい。緊急米価下落対策として農家への支援は考えられないか。

A 国が進めている収入保険や収入減少緩和交付金が有効と考えている。他の自治体では、稲作農家への独自支援を行っている例がある。国、県、近隣市町の動向を注視し、さくら市でも何らかの支援ができないか検討を進めている。

Q 国で留保しているマスクを提供してもらってはどうか。

A 配布対象施設を介護施設、障害者施設、児童福祉施設、福祉事務所等に定められている。本市においても、関連団体、関連施設等には引き続き利用の呼びかけをして行く。

Q ワクチン接種の予約が以前は取れないなど課題が多かったが、3回目接種の予約方法はどうか。

A 現在、対象人数に見合う医療機関での接種予約枠の確保を市医師団等と調整している。また、接種券到着時における一斉予約の混乱を防ぐため、接種券発送回数等を調整する。



Q ファイザー製とモデルナ製の同時使用が可能となり、接種希望者が自由に選べるようになった。本市での対応について。

A 両ワクチンは、生理食塩液による希釈の必要性、接種量が異なることから、ワクチンの取り扱いなどの間違いが起こらないよう、市医師団と協議している。現段階においては未だ情報が少なく、今後の具体的なワクチン供給情報をもとに、市医師団と調整しながら決定していきたいと考えている。

Q 5歳から11歳のワクチン接種についてどのように進めるのか。

A 国では、この年代の接種体制を3パターン想定している。1つは複数の医療機関で個別接種を行うパターン、2つめは接種会場を集約するパターン、3つめは複数市町村で連携して接種を行うパターンである。ワクチンの容器や容量も12歳以上用と違うものであり、同一の施設で接種することとした場合、混同しないような接種体制が必要となる。本市の対象者は、約3,000人で、接種は2月から3月頃に開始されるものと想定している。

Q 保護者への事前説明会など、保護者向けの情報提供が必要ではないか。

A 必要な情報収集や各市町の動向、ワクチンの供給などを注視の上、関係機関と連携を図りながら、状況に応じて保護者や市民への情報提供をしていく。



Q 危機管理体制と人員確保について、他課から派遣する支援要員をあらかじめ確保しておき、カバーする体制を平時より確立しておくべきではないか。また非常時に役立つ知識や経験、資格等を有している職員を把握しておき、非常時に優先的に対応に当たってもらえるよう体制を整えては。

A 本市においては、非常事態時に限られた職員で市民生活の維持に必要な業務を維持し、発生直後に迅速かつ的確に対応できるよう、平成30年9月に「新型インフルエンザ等（新感染症含む）に係る業務継続計画」を策定した。また、令和2年4月には、職員が新型コロナウイルスに罹患した場合の業務継続計画を各所属ごとに作成した。「支援要員の確保や代替体制の確立」については、これらの計画により対応が可能であると考えている。

Q マスクを体調面等でできない方に「マスクができない」ことを周囲に知らせるための缶バッジを作成し配布している自治体もある。本市においても対応できないか。

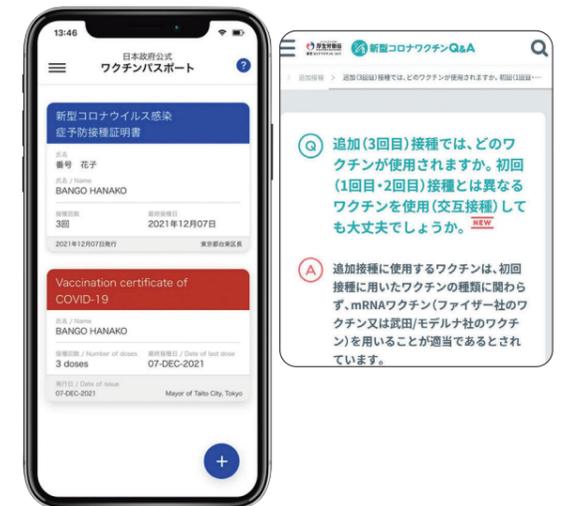
A さくら市でも何らかの支援ができないか情報を収集して検討を進めていく。

Q ワクチン接種の証明の電子版ができるようになる報道があるが。

A これまでは、接種会場で証明書を発行していたが、電子証明も、12月中旬に開始する旨国から連絡があった。マイナンバーカードとスマートフォンでの対応となる予定である。

Q コロナ関連予算について昨年度は、国からの交付金があったが、今年度の予算は。

A 地方創生臨時交付金については、昨年度は4億8,700万円あり、うち5,800万円を今年度に繰り越している。今年度全体では、現在2億6,100万円を計上している。今後国から2億程度追加交付があると見込んでいる。



スマートフォンのワクチンパスポート

新型コロナウイルス感染症はまだまだ先が見えません。執行部においては今後も社会活動の回復のために引き続きの努力をお願いしたいと思います。

また、3回目のワクチン接種につきまして滞りなく推進していくよう強く要望いたします。

議会報告会2021YouTube版はこちらからご覧ください。



私たち議員一同も、日々新型コロナウイルス感染症対策のために全力で取り組んでいきます。



鈴木 恒充 議員



Tsunemitsu Suzuki

地域共生センター※SAKUTOMOの今後の対応と課題について

▶ SAKUTOMOの認知度を高めるとともに、先進地の事例を参考に効果的な取り組みを進めていく

Q SAKUTOMOの相談員はどのような人なのか。

A 社会福祉士の資格を有しており、配置人数は2人で十分実務経験を積んでいる相談員である。



地域共生センター「SAKUTOMO」

Q 介護保険第2号被保険者（40歳以上65歳未満）の保険料はどのように使われているのか。

A 介護保険の財源については、全体の半分を第1号被保険者と第2号被保険者の保険料で、残り半分を、国・県・市町の公費で賄うという仕組みになっており、これらの財源を基に、第1号被保険者、第2号被保険者、ともに介護サービスを利用できる。

Q 高齢者施設のサービス料金と自己負担額の基準は。

A 原則として合計所得金額が220万円以上の方が3割、160万円以上の方が2割、それ以外の方が1割負担である。また、高齢者施設の入所については、介護サービス費の自己負担割合に加えて、食費、居住費及び、日常生活費を負担していただく。

Q 高齢者施設の人材確保について。

A 現在、国では介護職員の賃金の引き上げを予定している。さらに、ICTの積極的な導入による、業務の効率化など労働環境の改善を図っていく。いずれも、中長期的な取り組みとなっているが、国・県・事業者と連携しながら介護人材の確保に取り組んでいく。

Q 認知症高齢者の施設入所の判断基準は。

A 介護支援の専門職であるケアマネージャーが本人の心身の状態に基づきケアプランを作成し、本人及び家族の意向を尊重するため、一律に施設入所の基準を示すことは難しい。



※SAKUTOMO P.19参照



岡村 浩雅 議員



Hiromasa Okamura

奨学金返還支援制度の創設について

▶ 他自治体の要件及び事業効果等を参考にし、制度創設の是非を判断していく

Q 本市における40歳代までのUターン人口は。

A 令和元年度40歳代までの転出者1,387人、転入者1,390人であった。令和2年度は、転出者1,322人、転入者1,407人であった。

Q 「奨学金返還支援制度」を創設する考えは。

A 現在既に制度化して運用している他自治体の要件及び事業効果等を参考にしながら、本市としての制度創設の是非を判断していきたい。



3歳6ヶ月検診における視力検査について

Q 3歳6ヶ月検診における視力検査方法は。

A 一次検査として、保護者へ視力に関するアンケートと※ランドルト環指標を送付し、保護者が検査を行う。二次検査では、健診の際に持参したアンケートとランドルト環での検査結果を確認し健診担当医の診察を受ける。診察等の結果から異常所見がある場合は、眼科医療機関への受診を勧奨する。

Q その際の屈折異常の割合は。また異常を見落とした例はあるか。

A 現在の検査は弱視等の早期発見を主眼として行っているものであり、屈折異常である近視、遠視、乱視などの割合や、異常の見落としを把握することは困難である。

Q 国では来年度屈折検査機器を購入した場合の費用の半額補助を予定している。それに合わせ、※「スポットビジョンスクリーナー」を導入したらどうか。

A 導入を見据えた積極的な検討を指示した。



スポットビジョンスクリーナー

- ※ランドルト環
視力検査で使われているアルファベットのCのようなマーク
- ※スポットビジョンスクリーナー
弱視の危険因子となる斜視及び屈折異常(近視、遠視、乱視、不同視)をわずか数秒で判別する機器

その他の質問

● 今回の衆議院議員選挙の改善点および今後の各種選挙に向けて



櫻井 秀美 議員



Hidemi Sakurai

観光推進事業について

▶ビジョンの具体化に向けて急ピッチで進めていく

Q 私は平成28年に太陽光発電の規制をしておくべきと一般質問しているが、お丸山周辺の観光推進を考えていればこの時点で市長が動くべきだったのでは。

A 農地転用に伴う太陽光発電の案件は農業委員会が扱っている。太陽光発電の規制は、景観を大切にす一方、脱炭素社会を目指す方針や、地権者の土地利用を制限するなど多くの課題があった。条例でも作ってあれば、事前に協議が出来たと考えている。

Q 今後を見据えて、太陽光発電の規制をやるつもりはあるのか。

A 自然環境、景観等と太陽光発電設備との調和を図る条例の制定を進めたい。

Q 長期展望のビジョンをつくり、今後想定されることを考え事前に規制して基本的な姿勢をつくっていくべきでは。

A ビジョンを先に示すべきだと考える。そのビジョンを具体化させるため、民間事業者との話し合いを最近ようやく始めた。



オーパークおごせ (フロードームテント)

Q 市長就任2期目ながら何を決めるのも遅い。道の駅きつれがわも今期の上半期を含めて累積赤字が約3,500万円、温泉施設などに4年間で2億円の投資をしている。官と民の連携強化や民に委託すべき事業を選択してゆくべきでは。

A 埼玉県越生町のオーパークおごせ、ときがわ町の昭和レトロな玉川温泉など民間移行の顕著な成功事例を視察してきた。温泉運営には経費を要するので、集客をして利益を上げるといった考え方の施設運営ができるよう、事例を参考に方向付けをしていく。



玉川温泉

市が借り上げている土地賃貸借契約について

Q 賃貸物件は毎年予算計上すれば何もしなくてもいいので対応しないのが現状。総合公園の場合、期間が約40年になり、これまでに総額で1億円以上の賃借料を支払っている。土地の購入交渉のために、経験豊富な再任用職員を担当させる体制をつくるべきでは。

A 地権者とは今後も丁寧な交渉を進めていきたい。再任用職員の登用で、その経験を活かすことも有効と考えている。

その他の質問

●農産物1.2倍の現状と特産品について



福田 克之 議員



Katsuyuki Fukuda

自治体における犯罪被害者等の支援について

▶さくら市犯罪被害者等支援条例を制定する

Q 条例制定について、他の自治体よりも一歩進んでいる点について問う。

A 遺族見舞金や重傷病見舞金の他に、国の給付金制度や県の見舞金制度の対象にならない被害者にも、市独自の幅広い支援として、療養期間が2週間以上ひと月末満の被害者に対して支給する、傷病見舞金を追加したい。

Q 自殺における見舞金について問う。

A いじめが自殺の要因として自殺関与罪等の犯罪と認定されれば、同様な支援が対象となる。



被害者支援センターとちぎパンフレット

さくら市のひきこもり・不登校支援について

Q 部署や組織の垣根を越えた連携・情報共有について問う。

A ひきこもりについては、関係機関同士が、地域資源やニーズを把握して、適切な支援につなぐためのプラットフォームづくりに向け、準備会議を開始した。また、不登校支援については、学校だけでなく関係機関（NPOや民間団体等）と地域社会全体で共有して子どもたちをサポートしていく。

Q さくら市における※ポラリスとちぎの出張相談の開設について問う。

A これから正式な協力依頼をおこない、令和4年4月から開始したい。



※ポラリスとちぎ
栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター

一般質問ここが聞きたい

一般質問ここが聞きたい



笹沼 昭司 議員



Shoji Sasanuma

ふるさと納税について

▶企業版ふるさと納税は市長のトップセールスで

Q 令和4年度の目標金額は。

A 令和2年度の約4倍となる1億6,000万円を見込む。

Q どのようにして増収を図るのか。

A 高額な寄附にも対応可能な返礼品の開拓、より効果的で魅力あるPRの実行、企業と連携した新商品の開発や体験型の返礼品などを多く取りそろえ、より一層の寄附を集められるようにする。

Q 企業版ふるさと納税は。

A 目標額を高くし、さくら市にゆかりの深い市外の企業から寄附がいただけるよう、具体的な事業も示しながら、お願いしていく。



収入保険について

Q 収入保険制度は、作物に関係なく自然災害や商品価格の下落による収入減少にも対応し、販売農家が安定的に再生産できる基盤になるが、現状は。

A さくら市の販売農家数は1,056戸で、収入保険への加入件数は48件であり、割合は4.5%に留まっている。収入保険に加入可能な青色申告者数は379名、販売農家の約36%で、このうち約13%が収入保険に加入している。

収入保険は、自然災害や価格低下だけでなく農業者の経営努力では避けられない収入減少が補償の対象です！



健康保険法等の一部改正について

Q 国は、来年度から国民健康保険料等の就学前の子ども均等割について半額を軽減させ、その減額相当額を公費で支援するという制度を創設するが、市の対応は。

A 制度の改正については、さくら市国民健康保険運営協議会に諮り、答申を受け、3月議会でさくら市国民健康保険条例の一部改正を行い4月から実施する予定。

その他の質問

- DXを活用した行政サービスについて
- プラスチックごみの削減について



永井 孝叔 議員



Takayoshi Nagai

こども政策について

▶より良い保育園運営に向けて共に進めていく

Q 民営化に伴う保護者の不安解消、保育士の安定雇用について問う。

A 保育環境の変化を最小限にとどめ、子どもの最善の利益が図れるよう進める。保育士の収入を月額9,000円程度引き上げる経済対策が閣議決定されたので、国を挙げた保育士の処遇向上に今後期待をしたい。

障害者福祉について

Q 本市における障害者優先調達について問う。

A 令和2年度の調達は目標を達成した。今後も優先調達の増額実行のため、庁内各課等の意識付けを図り積極的に取り組む。



マイナンバーカードについて

Q 普及促進と利用できるサービスについて問う。

A 交付率向上に向けて、マイナンバーカードによって利便性の向上するサービス内容や、市独自のマイナポイントの追加付与などを検討し、早い時期でのカード取得が有効であることなどの情報提供を効果的に行うことが必要であると考えている。また、税証明の取得においても必要な費用などを確認したうえで、早期に予算化を行って導入したい。

マイナンバーカードが健康保険証として利用できます！

デジタル庁 総務省 厚生労働省



吉田 雄次 議員



Yuji Yoshida

地域文化の伝承について

▶市有施設使用料の減免は使用目的や活動内容などで個別に判断

Q コロナパンデミックであらゆる活動が停止を余儀なくされているが、生活が元に戻り活動が再開されたときに、地域文化を伝承するグループ等に対して、市有施設使用料の減額や免除をするなどの方策を取る考えはあるのか。

A 市の条例により、公共性、公益性がある団体の使用料は減免している。使用目的や活動内容などによって個別に判断をしている。

Q 地域美術工芸品等の鑑賞も文化伝承の重要な要素であると思うが、地域文化を伝承するグループの拠点づくりに取り組む考えは。

A コロナ終息後には、バージョンアップで活動してもらえよう、公民館やミュージアム、さくらテラスなどの活動の場の提供、活動環境の整備など、様々な方面からグループの拠点づくりについて支援していきたい。



さくらテラス (駅前情報館・多目的室)

Q 市民活動支援センターの利用の目的と使用基準は。

A 市民による営利を目的としない自主的な社会貢献活動のための拠点として開設したが、自治会や企業、趣味の活動など、市民活動に直接該当しない利用も歓迎している。センターに団体登録すれば、会議室の利用料は免除で、Wi-Fi完備のフリースペースは、簡単な打合せやオンラインでの会議等、個人でも自由に利用できる空間となっている。



市民活動支援センター



加藤 朋子 議員



Tomoko Kato

超高齢社会対策について

▶第8期さくら市高齢者総合保健福祉計画を策定し対応

Q 近年増加が著しい高齢者のみ世帯や高齢者単身世帯の現状は。

A 本市の高齢者のみ世帯は4,247、そのうち単身世帯は2,242で、いずれも増加傾向にある。

Q 日常生活支援、相談体制は。

A 安否確認を兼ねた給食サービス、声かけごみ収集、移動スーパー、移動店舗、買物バスツアーなどの買い物支援を利用できる。また今年度、買物、掃除、通院支援などの活動を行う地域の団体を支援する補助金を創設した。相談は市の各課及び地域包括支援センターや社会福祉協議会、地域共生センターで対応。専門職や関係各課によるチームを組織し、必要な対応を行う仕組みづくりに取り組んでいる。

Q 車の運転に不安を持つ高齢者への対策は。サポカー補助金創設の考えは。

A 国の動向をよく見極めながら支援策を研究していく。



Q 子どもが居ない人の老後資金、遺産相続等、老後不安解消策は。

A ※「成年後見制度」利用促進のため、広報、相談、利用促進、後見人の支援を担う中核機関を新年度に設置する。

ごみ対策について

Q ごみ集積所の利用を行政区から断られるケースが散見されるが対策は。

A 行政区未加入者も、ステーションの維持管理の協力を条件に使用できると考えている。利用者同士による円満な解決をお願いしている。

Q 戸別収集の実績と今後は。

A 今後も希望者増が想定される。重要な課題の一つとして運用方法の研究を続ける。



声かけ収集車

※成年後見制度
判断能力が不十分な成人を後見人等が代理し、必要な契約等を締結したり財産を管理したりして、本人の保護を図る制度

● 議会レポート

■ 県市議会議長会議

令和3年10月13日
・ 渋井 康男 議長

■ 県央六市議会議長会議

令和3年11月11日
・ 渋井 康男 議長

■ 県北五市議長会議

令和3年11月25日
・ 渋井 康男 議長

■ 塩谷市町村議会議長会議

令和3年12月22日
・ 渋井 康男 議長

■ 塩谷広域行政組合議会定例会

令和3年10月5日
・ 渋井 康男 議長
・ 永井 孝叔 議員
・ 石岡 祐二 議員
・ 鈴木 恒充 議員
・ 矢澤 功 議員

■ 監 査

- 例月現金出納検査
10月25日
11月24日
12月27日
・ 石岡 祐二 議員
- 定期監査
11月17・18・22・24日
・ 石岡 祐二 議員
 <現地調査>
 ● 氏家保健センター
 ● わくわく保育園
 ● たいよう保育園
 ● 氏家公民館
 ● さくら市ミュージアム
- 財政援助団体等監査
12月27日
・ 石岡 祐二 議員

■ 視察等来訪

12月22日
「上三川町議会活性化に向けた改革検討会第2部会」の議員7名が「議会のICT」について視察に訪れました。



● 議会の動き

10月

- 5日 塩谷広域行政組合議会定例会
- 6日 議会広報委員会
- 12日 加須市議会正副議長就任あいさつ来訪
- 13日 栃木県市議会議長会議
- 15日 議員全員協議会
議会運営委員会
第5回臨時会
- 20日 議長杯ゲートボール大会開会式
- 25日 例月現金出納検査

11月

- 4日 議会運営委員会
新型コロナウイルス感染症対策会議
- 11日 県央六市議会議長会議
- 15日 議員全員協議会
議会運営委員会
- 17日 定期監査
- 18日 定期監査
- 22日 新型コロナウイルス感染症対策会議
定期監査
- 24日 例月現金出納検査
定期監査
- 25日 県北五市議長会議

11月

- 30日 議員全員協議会
議会運営委員会
第4回定例会開会
新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
議会広報委員会

12月

- 1日 第4回定例会一般質問
- 2日 第4回定例会一般質問
- 4日 福祉講演会
- 7日 総務常任委員会
- 8日 文教厚生常任委員会
- 9日 建設経済常任委員会
- 11日 さくら市ミュージアムこども絵画展表彰式
- 15日 議員全員協議会
議会運営委員会
定例会開会
タブレット講習会
- 22日 法令外負担金審議特別委員会
塩谷市町村議会議長会議
上三川町議会議員視察来訪
- 27日 例月現金出納検査
財政援助団体等監査

どうなったんべ あの 質問



議員が行った一般質問は、市政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から取り上げて、その後の状況をお知らせします。

地域共生センターについて

令和3年 第2・4回定例会
令和2年 第1・4回定例会
令和元年 第1・2回定例会

以前は…

地域の方が抱える課題が複雑化・複合化し、8050問題や、ヤングケアラー、ダブルケア、ひきこもりなど、従来の制度の隙間にあって支援が難しい事例が増えてきました。

「困っているけれど、どこに・なにを相談すればよいか分からない。」そんな人に寄り添う相談窓口の必要性がクローズアップされてきました。

今後は…

そこで令和3年4月1日に「さくら市地域共生センター」が設置されました。場所は、社会福祉法人恵友会 桜花の施設内で、公募で選ばれた愛称は「SAKUTOMO」といいます。

このネーミングには、「さくら市民みんなで力を合わせ、どんな時でも楽しく笑って日常生活を共に生きていこう」という想いが込められています。

SAKUTOMOでは、相談窓口を通じて、地域みなさんや関係する機関との繋がりを大切にしながら、地域共生社会の実現に向けた取組みを行っています。

SAKUTOMOでは、複雑で解決の難しい相談に対しても、関係する複数の機関が協働して伴走しながら支援を継続していきますので、遠慮なく気軽にご相談ください。

今後もSAKUTOMOの周知に努めながら、次のことも充実させていきます。

- 相談に繋がっていない潜在的な相談者を見つけ、支援に繋ぐ。
- 社会との繋がりが無い方に対し、繋がりの機会をつくる。
- 希薄化している地域交流の機会を増やし、地域づくりを進める。

問合せ先

受付時間 8時～17時
(土・日・祝日・年末年始を除く)
電話番号 028-612-3557
F A X 028-612-3558
住 所 さくら市氏家1786番地2





市民の声

塩谷BOOSTORM バスケットボールクラブ

こいけ まさとし
小池 正稔 (馬場)

塩谷BOOSTORMバスケットボールクラブは創設16年、70名以上の卒団生を輩出している伝統あるクラブチームです。2年前にチーム名をあらため、更なる飛躍を目指して練習に励んでいます。

私はさくら市内で農業経営を行うかたわら、チームの指導者として5年目を迎えました。子どもたちのために質の高い練習環境を整え、バスケットに限らず他の競技や体育の授業など様々な場面で活躍出来るよう、運動能力の向上を目指して指導しています。さらに、仲間との連帯感や友情、フェアプレー精神の育成など心を鍛えることにも取り組んでいます。コロナ禍で誰もが引きこもりがちな現状ですが、バスケットをきっかけに運動する事の楽しさ、スマホやゲームでは味わえない仲間とのふれあいを感じて欲しいと考えています。

これからもさくら市を中心に子ども達の活躍の場を広げることで地域の活性化に貢献できるように活動していきますので、応援宜しくお願い致します！



《表紙写真》

塩谷BOOSTORMバスケットボールクラブ

対象：小学1年生～6年生
練習日：火・木 18時半～20時半
土 9時～12時
見学&体験随時募集しております。
問合せ：boostorm@jzx90.jp
<https://momonga-net.com/basketball/hp/shioya>

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体さんを募集しています。ご興味がある方は右記さくら市議会事務局までお問い合わせください。

議会広報委員会



高瀬 一徳 福田 克之 石原 孝明 吉田 雄次 榎木 善之 岡村 浩雅
小堀 勇人 副委員長 加藤 朋子 委員長 大河原 千晶 角田 憲治

お知らせ

掲載写真は、撮影時のみマスクを外しております。

次回 3月定例会予定
2月24日(木)～3月17日(木)
◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。

●議員年金について
平成23年6月1日をもって廃止されました。
●政務活動費について
さくら市議会では支給されておりません。